辻川だより

第２３号［2012 秋号］　平成２４年９月２２日発行

発行　辻川区　［辻川公民館］
〒679-2204　福崎町西田原 1227
TEL　0790-22-5763
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www10.plala.or.jp/tujikawa/

山口堂の建替工事

区長　釜坂道弘

この度、念願であった山口堂の立替工事が完了しました。

工事の際に、この山口堂は薬師如来を御本尊とし寛延3年（1750年）、今から約262年前に創建されたことが残っていた瓦のへら書き（下写真）によってわかりました。その後、大正9年（1920年）に建替えの記録が残っています。大正9年といえば、鈴の森神社の今の拝殿が建てられた年です。当時の住民の地元を想う強い心を結集して、取り組んだ大きな事業であったことを知ることが出来ます。先人らが住民の無病息災を願って建てた山口堂を通じて、その想いをいつまでも後世に繋げていきたいと願っています。

原助三郎作の擬宝珠

寛延庚午（かのえうま）の刻印

7月14日　山口堂開眼法要・竣工式

町大会・郡大会で優勝！　子ども会ソフトボール

快挙

町大会

郡大会

おめでとう

協議員会は今

7・8月の定例協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

① 界隈展・民俗学のタベのふり返り。来年から神社境内での電気配線作業を簡略化

② 秋祭りについて、実行委員会組織を検討。青年団からの木方・棒端の法被新調の要望を了解。三段布団の生地と天幕の新調を確認

③ 敬老会の催事は今年も区内七四歳以上の対象者１２３名にお祝い金配付

④ 協議員の選出方法
各ブロックから選出を検討

福崎町子ども会　球技大会

▽7月7日（土）
ソフトボール（男子）**優勝**
一回戦○６－３高岡
二回戦○２－２山崎
三回戦○２－２福田
（二・三回戦は抽選勝ち）
決勝戦○９－３庄
辻川初優勝！チームワークと元気の勝利、おめでとう。

なお、女子バレーボールは田原地区準優勝で町大会へ駒を進めたが、残念ながら初戦で準優勝した福田に敗れた。でも、ともによく頑張った。拍手！

神崎郡子ども会　球技大会

▽7月28日（土）
ソフトボール（男子）**優勝**
二回戦○７－１吉富（神河）
決勝戦○２－１庄
現神崎郡になって7回目の大会。辻川チームがまた新たな歴史をつくった。ヤッタネ！

お知らせ

■今年度第1回辻川界隈検討委員会（6月21日）から
今年度の「地域の夢推進事業」として、①三木家住宅仮囲いに松岡映丘の屏風絵とその説明をラッピング　②記念館周辺の美装舗装やバリアフリー確保等　を実施予定

■鬼太鼓、今夏も青葉台へ
8月18日、辻川鬼太鼓が青葉台（須加院）の夏まつりへ。鬼太鼓27年の歴史は地域の支援と世話役の奮闘と世代を超えた交流がつくる。

祭礼行事の報告　［十二隣保］

◆7月8日（日）**夏えびす**
◆7月15日（日）**夏まつり**
両日とも梅雨の晴れ間に恵まれました。夏恵美酒は辻川の祭りですが、夏祭（夏越祭）は辻川と井ノ口で祀っています。これは明治七年に鈴の森神社が村社に列せられた後のことのようです。秋の例祭（秋祭）も同じです。井ノ口の役員さん五名を含む二〇余名の参加の下、祭祀させていただきました。

《当面の予定》

9月23日　道普請（少雨決行）
10月6・7日　秋祭り
11月　フラワーポット植替
12月　各種団体・隣保長会議

事業報告

◆7月7日（土）
隣保長・各種団体役員会議
① 7～8月の行事・事業確認
② 辻川界隈展・民俗学のタベの詳細説明・依頼
③ 山口堂の「予定価格」と「入札価格」について

◆7月14日（土）
山口堂建立・竣工式
四〇数名の参列の下、妙徳山悟真院様により開眼法要が執り行われ、山口堂と大日堂が完成した。山口堂は92年ぶり、大日堂は61年ぶりに元通りの様式で新築された。山口堂建設委員の皆さん、そして建設に関わってくださったすべての皆様に感謝。なお後日、竣工記念タオルが全戸に配付された。

◆7月22日（日）
人権・青少年健全育成研修会
四〇名弱（内小学生八名）の参加者が人権啓発ビデオ「桃香の自由帳」を鑑賞し、教育委員会と田原小の先生のお話に耳を傾けた。子育ての環境には地域のつながりと起点となる母（父）親の「あり方」や姿勢が重要であると改めて感じた。ところで福崎町では今や小学生の16％が携帯電話を所持しているとか…大丈夫？

◆7月29日～8月5日
辻川界隈展
昨年から始まった灯籠飾り。今年はさらに50個増え、計151個の灯籠が参道を飾った。増えた分は福寿園入口から神社境内石段までの約100mを灯した。今年の灯籠制作（100個）には五隣保の松岡義隆さん、上延英一さん、六隣保の多田和政さんの協力を得た。

今回の特徴は旧道筋の「辻川のむかし写真展」。堰溝（ゆみぞ）交差地点から「もちむぎのやかた」南まで、そして参道入口の5箇所に36枚の昔懐かしい写真が展示された。

◆8月4日（土）
民俗学のタベ
今年は午後に柳田國男没後五〇年記念「第33回山桃忌」がエルデホールで開催され、その後「タベ」に足を伸ばされた方が目立った。新聞折込にもあったようにこの時期には辻川界隈で協賛のイベントが並ぶ。いつも思うことだが、これらを有機的に結びつける臨時の案内所が辻川界隈駐車場にできないものか。お盆前の一年で最も暑いこの時期だが、辻川の元気を発信する拠点が欲しい。

↑ 吹奏楽演奏（近畿医療福祉大）

さて、今年も大盛況だった「タベ」。猿使いになって4年目の柴田さんは何よりも猿との信頼関係を大切にしている

と言う。その秘訣は「約束を守る」ことらしい。「タベ」を通しての交流こそ、信頼の輪を広げコミュニティをつくる秘訣。久しぶりの顔に出会えただろうか。それにしても、「タベ」を継続するにはエネルギーが要る。

猿まわしに魅せられて←

◆8月18日（土）第31回**自治会親善ソフトボール大会**

一回戦 ● 3 ― 8 福田

奇しくも初戦から子ども会町大会の再現に。「初戦から優勝候補のつぶし合いか」とはバックネット裏の声。雪辱を期す福田に残念ながら寄り切られたが「来年はリベンジ」と駒田監督の鼻息は荒い。

キッズダンス（山田文庫）↑

＜気象の記録＞ ① 7 月 3 日、梅雨前線の活動が活発化し、午前 7 半頃までの 1 時間雨量が福崎で 46.5mm となった。これは 1976 年観測開始以来、7 月の福崎の最多記録である（7/4 神戸新聞）。

② 今夏、県内最高気温は 7 月 31 日、福崎町での 37.8℃であった（8/23 神戸新聞）。

いざ！秋祭り

☆ 秋季例大祭日程

6日 宵宮 7日 本宮

☆ 秋祭りまでの予定

乗り子練習開始：9月1日

屋台蔵での練習：9月24日～

新乗子 9 名

☆ 熊野神社宮入等の予定

宮入前木方会議 午後1時

宮入開始 午後1時20分

昼休憩 午後2時50分～

宮出開始 午後4時

宮出完了 午後5時20分

〔正午～午後6時：田尻交差点～辻川交差点車両全面通行止〕

☆ 神輿渡御日程（御輿がお旅所へ）

7日 9:30 祭典斎行

10:30 熊野神社発

10:50 岩尾神社着

11:40 岩尾神社発

12:00 熊野神社着

★ 屋台宮入順と宮中での位置

《東側》

1．田尻
2．大門
3．辻川
5．西光寺
7．中島
9．西野
11．八反田
13．亀坪

本殿

拝殿

舞台

《西側》

4．北野
6．井ノ口
8．加治谷
10．長目
12．吉田

（辻川の休憩場所は屋台の東）

辻川の道 3

郡役所時代 〈その1〉

〔明治一九年頃～昭和前期〕

「僅（わず）か八十戸か百戸（注1）足らずの部落であった辻川でも、時代の影響をうけて、私らの目前で変わって行くのがよく判った。いちばん大きな力となったのは郡役所である。」（柳田國男『故郷七十年』より）

神崎郡役所は明治一九年に神東・神西郡役所として建てられた。柳田が十一歳、ちょうど約1年間三木家に預けられていた頃のことである。その後、明治二九年に神崎郡役所（注2）と改称している。

明治二二年の町村制施行により誕生した田原村の役場は図1では郡役所の東（現一隣保付近）に見える。図2（大正時代～昭和初期）では現角屋さんの北（八隣保と十隣保の境界あたり）へ移転しているようである（注3）。また、図1で郡役所の西にある登記所は図2では裁判所（注4）になっている。

JR播但線は「播但鉄道」として明治二五年に福崎まで開通し、明治二八年には生野―飾磨間が開通した。明治三九年には和田山まで全通し、国有化され「国鉄播但線」になった。

郡役所ができたことにより、辻川の道や街は大きく様変わりする。何と言っても現八隣保から十二・十三隣保を通り西野への直線道路がついたことが大きい。その道路沿いに街が広がっていく様子が図1と図2を見比べるとよくわかる（但し、福崎駅前の新道とその繁栄振りの方が際立つが）。馬車や荷車による物流と行政・管理機構の拠点であった辻川と、鉄道により発展する福崎駅前をつなぐ神崎橋が完成したのは明治三〇年前後だろうか。 **つづく**

（注1）辻川の全戸数は弘化四年（1847年）に約六〇戸、大正十年（1921年）には約九〇戸という記載もある（福崎町史第一巻）。この数字はほぼ図1から図2への変化と見ることができる。なお、元文二年（1737年）には三三戸（町史第二巻）だったそうだ。

（注2）少なくとも昭和一七年の神崎郡誌発行時から三一年の福崎町合併当時までは神崎郡団体事務所として使用されていた。築後永らく2隣保の地にあったが、昭和五七年に辻川山裾に移築復元され、町立神崎郡歴史民俗資料館となった。昭和六二年に県指定重要文化財になっている。

（注3）田原村役場はさらに昭和二十年代には現ＪＡ兵庫西福崎東支店あたりに移転する。

（注4）明治二〇年、郡役所内に神戸始審裁判所の管轄に属す西田原登記所が設置され、翌年には姫路治安裁判所西田原出張所と改正、明治二二年に図1の地に移転し、さらに明治二三年には姫路区裁判所田原出張所と改称し神戸地方裁判所の管轄に属している（神崎郡誌より）。登記所と裁判所の機能はどうやら一体のようである。三隣保にあった旧法務局登記所はこの裁判所を改築したもののようである。

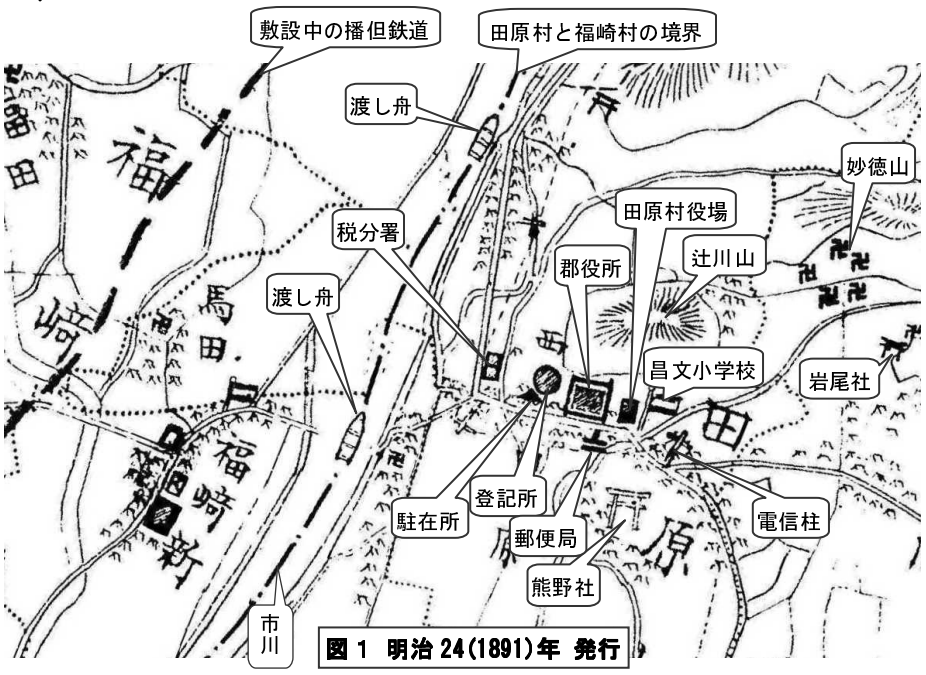

図 1 明治 24(1891)年 発行

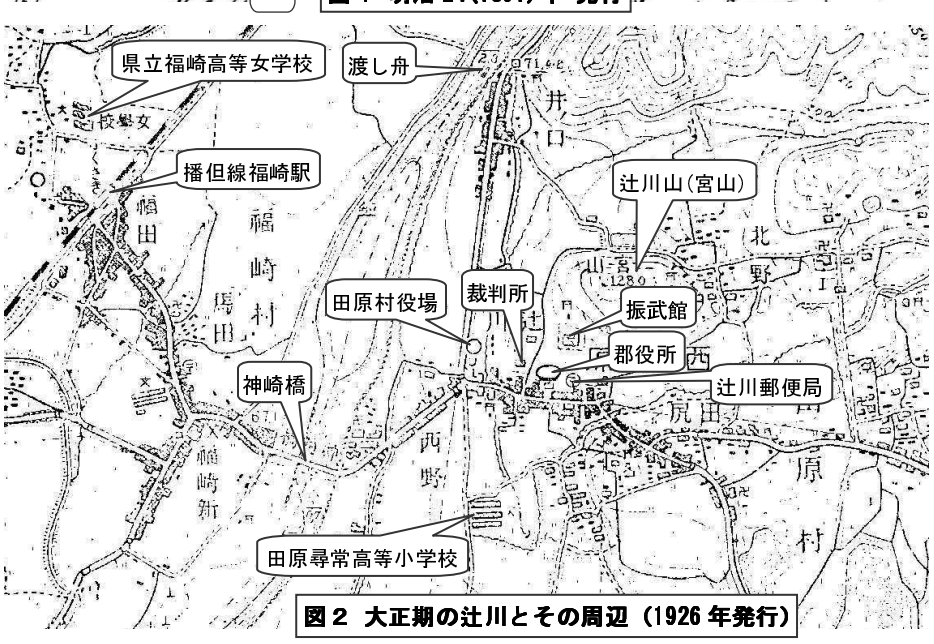

図 2 大正期の辻川とその周辺（1926 年発行）

編集後記

今号の「辻川の道」は、西所に新道ができてから昭和前期までの、旧道沿いが最も賑やかだった頃の50年間の変遷です。内容が多いので次号へ続きます。〔田﨑〕

＜参考・文献・出典＞

・福崎町史 第二巻・第四巻
・神崎郡歴史民俗資料館特別展 福崎町の文化財(平成一六年)
福崎記（平成一八年度）
福崎の道（平成一九年度）
・柳田國男著「故郷七十年」
・神崎郡誌（昭和一七年発行）他